



忙しいかね (平野がんばる祭りのかかし)

あかわ Sakawa 議会だより

40
2009.12.1

9月定例会

contents 目次



朝霧たちこめる斗賀野平野

町議会新たな構成決まる	2
20年度決算 総額3.5億円の黒字	6
ソニア、存続なるか(一般質問)	11
消防団員に受信機設置を (あの質問のゆくえ)	20

笑顔あふれるまちを目指して

力を合わせてがんばります

町民の思いに込める議会



議長
永田 耕郎

師走を迎え、あわただしい季節になりましたが、皆様にはますますご清栄のことと存じます。

日頃は議会活動に対しまして、格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

去る、10月11日の町議会議員選挙後の組織議会において議長に再任されました。身に余る光栄に存じますと同時に改めてその使命と職責の重大さに身の引き締る思いが致しております。

さて、長引く経済不況の中、8月の国政選挙において政権交代という歴史的変革が起きました。

政治経済ともに先の見えにくい時代の中、町行政サービスを低下させず、諸課題に適切に対応し、町民の思いに込めるためには、執行部とともに課題解決に向けた取り組みを着実に進めていかなければなりません。

今後も、皆様の声を町政に反映させ、行政のチェック機能や政策提言機能の更なる強化に努め、町民福祉の向上と町政発展のために全力を尽くしてまいりますので、一層

のご指導とご支援を心からお願ひ申し上げます。

議員一丸となり取り組み

このたび、各議員のご推挙により、副議長の要職に選任され、その重責を担うこととなりました。誠に身に余る光栄と存じます。

さて、長年続いてきた自由民主党から民主党へと政権が代わり「子ども手当」月額2万6千円の支給、また、高速道路の無料化等、これで財政運営は成り立っていくのでしょうか。

公共工事が削減されれば本町に大きな影響が予想され、町民が仕事を失い、生活が困難になるのではないのでしょうか。

本町には少子・高齢化、救急車も入らない道路、水道未整備地区など様々な課題があります。

今回の町議選では新旧交代がありました。議員一丸となり、今後の町づくりに全力で取り組んでいく決意です。皆さまのご支援とご指導を心からお願ひ申し上げます。



副議長
西村 清勇

10月22日に臨時会が開かれ、正副議長や各常任委員会の委員長をはじめ、議会の新しい人事構成が決まりました。

総務文教常任委員会

主に総務課、税務課、教育委員会などの所管に関する事項、請願、陳情を調査・審査します。



委員長・5期
徳弘 初男
議員

少子高齢化・福祉対策、健康で元気に安心して暮らせるまちづくり、若者定住対策、高北病院を中心とした保健福祉・医療・介護が一体なった取り組み、防災対策、これらの問題にボランティア精神で取り組んでいきますので、よろしくお願い致します。



4期
西村 清勇
議員

別掲 2ページ
副議長あいさつ



6期
藤原 健祐
議員

平成9年より12年間、高吾北広域事務組合議長をさせて頂きました。今、ソニア問題が大変な時期になっています。この問題の早急な解決に努め、また、佐川町民の住民福祉の向上のために努力しますので、ご指導ご鞭撻よろしく申し上げます。



副委員長・4期
松本 正人
議員

住民の暮らしは、ますます厳しくなっています。住民要求に耳を傾け、弱いものの立場に立ち、その声を町政に届けるパイプ役となり、国政も町政も私たち住民の声で変えることができるという、実感を得られるための先頭に立ちたいと思います。



1期
森 正彦
議員

生活重視の町づくりを進める中で、人口減少問題は大きな課題です。その対策として、①子育て環境の整備による若者定住対策 ②産業育成としての農業振興 ③高齢者が安心して暮らせるシステム作り以上の施策の実現に取り組みます。



1期
片岡 勝一
議員

大変厳しい経済不況、少子高齢化社会の中で、農業発展と振興に努め、水害対策に取り組む、人材を生かした効率的なボランティアで住民力を生かし、町民が安心して暮らせる活気ある佐川町を目指し、全力で取り組む決意をしております。



4期
永田 耕朗
議員

別掲 2ページ
議長あいさつ

産業厚生常任委員会

主に産業建設課、国土調査課、健康福祉課、町民課、病院などの所管に関する事項、請願、陳情を調査・審査します。



委員長・4期
今橋 寿子 議員

半世紀続いた政治から、新政権へと大きく変わり、国民が起こしたこの波は、民主主義の原点であり、ともに責任を持っていかなければなりません。私自身も、新たな気持ちで、女性の視点を生かし、安心して住める町になるよう、尽力して参ります。



3期
中村 卓司 議員

今、町政に必要なことは具体的に何をしますか。私は約束します。

- 1.道の駅を実現する事
- 2.黒岩地域から水害をなくす事
- 3.議会の声を生の声で報告する事

佐川町は、動けば変わる、動かなければ変わらない。



5期
嶋崎 正彦 議員

前政権による地域格差、経済の疲弊している現状の中から、国民による政権交代となった。今、中央を良く見据えながら慎重に取り組み、佐川町が発展するよう頑張っています。



副委員長・3期
氏原 義幸 議員

民主党政権に変わり、補正予算の執行停止や補助金等が削減され、今後本町への影響が懸念されます。そうした中、皆さまの声を行政に伝え、公平性のある施策に努力いたします。また、農業施策にもしっかりと取り組む決意を致しております。



2期
松浦 隆起 議員

2期目も、現場第一主義に徹し、「1人の人を大切にす町政」の実現に向けて、町民の皆さんの声を行政にしっかりと届け、その実現に向けて全力で取り組んで参ります。「行きたい、住みたい町」を目指します。

今後とも、よろしくお願致します。



2期
岡村 統正 議員

国政では、政権が変わり大きな転換が行われている今、町においても補助事業や、施策の見直し等に、今後影響がでてくるのが考えられます。少子・高齢化が一段と進む今日、住民の声を町政に届けると共に、本町発展の為に尽くして参ります。



2期
坂本 貞雄 議員

今、国の政治は大きく動こうとしています。新政権が地方自治にどう対応するか注視したい。町民生活の実態を知り、町民一人ひとりが心豊かに暮らしていけるよう、足元を見つめ、地道に取り組んで参ります。

お力添えをよろしくお願いたします。

議会広報編集委員会

議会の審議、活動等について広く、住民の方に公開周知することを目的に、議会広報の編集を行います。



前列右より
○坂本貞雄
◎岡村統正
松浦隆起
後列右より
片岡勝一
森正彦

議会運営委員会

議会の日程、議案や一般質問の取り扱いなど議会運営を円滑に行うために必要な事項や、議長からの諮問事項を審査します。



◎委員長 ○副委員長
前列右より
○氏原義幸
◎岡村統正
今橋寿子
後列右より
藤原健祐
松浦隆起
徳弘初男

国道494号佐川バイパス 整備促進特別委員会



前列右より
松本正人
嶋崎正彦
◎中村卓司
今橋寿子
後列右より
松浦隆起
永田耕朗
森正彦
岡村統正

議会選出 監査委員



松浦隆起

※適正な行財政運営が行われているか、定期的に監査します。

高吾北広域 町村事務組合議会議員

藤原健祐
徳弘初男
永田耕朗
中村卓司

日高村佐川町 学校組合議会議員

永田耕朗
坂本貞雄

固定資産評価 審査委員

大山定一氏

佐川町乙3060番地

万円のまちづくり

平成20年度

決算
認定

総額3億5233万円黒字決算

決算総額は、歳入（収入）が前年度より約11億2840万円少ない123億1088万円、歳出（支出）118億1544万円、前年度より11億4921万円の減、歳入・歳出とも減となりました。

町の主な事業を行う一般会計は、歳入で前年度より8億2622万円多い、68億2130万円、歳出で8億2975万円多い65億3381万円となりました。

病院事業会計は、単年度では2270万円の黒字決算となっています。これは本年度から実施したデイサービス事業が黒字となっていることが主な要因です。累積欠損金は9億5613万円となっています。

損金は3132万円となっているが、これは黒岩のセメント石綿管の取り替え工事費による既設管の除却によるものです。

町債（借入金）の状況は、一般会計では4億9490万円借入れ、12億8703万円（元金と利息）を償還（返済）し、20年度末の未償還元金は68億7925万円となっています。特別会計を含む町全体の未償還元金は96億3691万円となっています。

基金（町の貯金）の状況は、一般会計、特別会計合計の19年度末の現在高が32億7423万円、年度内積立金3億7959万円、年度内取り崩し額2億9050万円、20年度末現在高は33億6332万円となり、19年度より8909万円の増となっています。

町民ひとり当たりの
貯金は23万円 借金は67万円

会計名	歳入	歳出	翌年度繰越額	実質収支額
一般会計	68億2,130万	65億3,381万	1億4,311万	1億4,438万
国民健康保険特別会計	17億7,383万	17億214万		7,169万
老人保健特別会計	3億397万	2億7,751万	0	2,646万
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1億1,804万	1,551万	0	1億253万
学校給食特別会計	5,383万	5,383万	0	0
農業集落排水事業特別会計	2,380万	2,380万	0	0
特定環境保全公共下水道事業特別会計	654万	654万	0	0
介護保険特別会計	13億9,426万	13億8,482万		944万
後期高齢者医療特別会計	1億8,953万	1億8,865万	0	88万
水道事業特別会計	1億4,211万	1億6,786万	0	△2,575万
病院事業特別会計	14億8,367万	14億6,097万	0	2,270万
合計	123億1,088万	118億1,544万	1億4,311万	3億5,233万

※水道・病院事業特別会計は収益的収支を記載

どう活かされた
みんなのお金

歳出総額

118億1,545

①財政力指数 0.32%
 ②経常収支比率 90.5%
 ③公債費比率 17.9%

一般会計の歳入68億2,130万円に対し、歳出は65億3,381万円。市町村の財政状況を表わす。

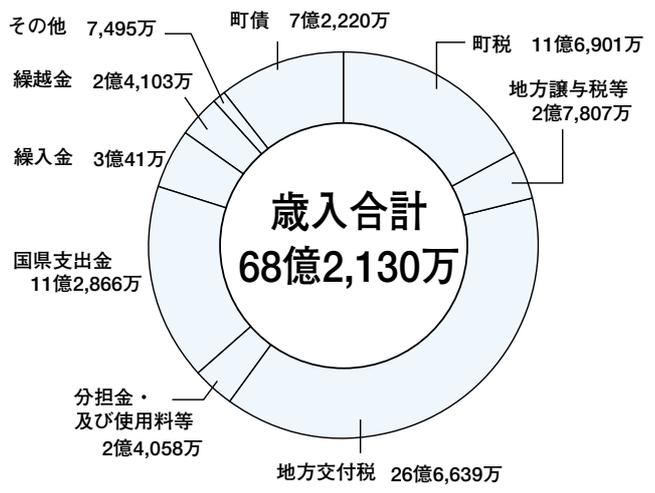
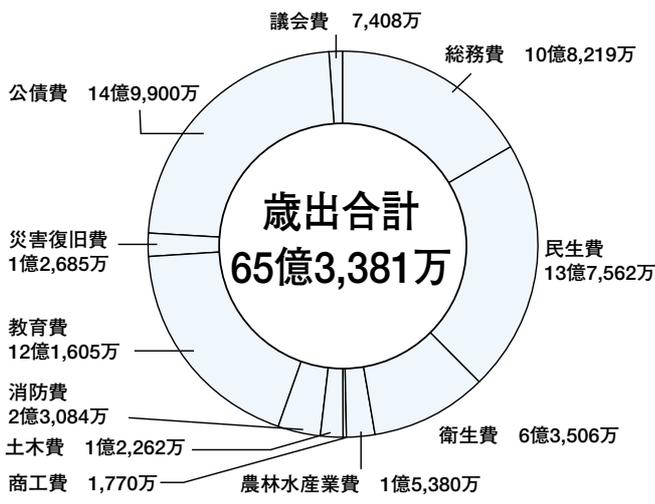
一般的に行政の仕事を行うのに必要な費用を、どれだけ自前で賄っているかを示すもの。1以上なら、一般的に「財政力豊か」とされます。

人件費などの経常経費が、使い道が限定されない一般財源にどれくらいの比率で占めるかによって財政の弾力性を示すもの。75%以下が適正とされています。

一般財源をどれだけ公債費で賄っているかを示すもの。いわゆる自治体の借金の割合で、10%を超えないことが望ましいとされています。

以上から判断すると佐川町の財政は、昨年に引き続き、厳しい財政運営を強いられています。

一般会計



監査意見 (要旨)

西山 毅 委員
 青木 茂 委員



平成20年度決算は佐川中学校建設事業の実施により、前年度より大幅な伸びとなっている。歳入では学校建設事業に伴う国庫補助金、県支出金、町債および繰越金が大幅に伸びているが、学校関連を除くとほぼ横ばいの状態である。滞納額は保育料を除き、増加傾向にある。

歳出は、学校関連に伴う経費が大幅に増加しているが、それ以外では、前年度と比較して衛生費は減、民生費は増となっている。

また、未収金の状況は一般会計、特別会計を含めて、収入未済額は30,912千円となっている。

おり、前年度より1,766千円増加している。厳しい行政運営を行っている中、自主財源の確保は言うまでもなく負担公平の原則からも、滞納の防止と回収を図るため差押え等、法的処置をとる必要がある。

平成21年度に設置された滞納整理課と担当課が連携協力のもと徴収率の向上に期待をする。

今後は、税収等、収入の大幅な伸びが期待できない、今まで以上に困難な財政運営を強いられることが予想される。引き続き、効率かつ効果的な行政運営と財政健全化に努め、町民福祉の更なる向上のため努力されたい。

9月定例会で決まりました

9月定例会は、9月8日より11日までの会期で開かれました。

平成20年度決算の認定のほか、21年度補正予算をはじめ、条例改正など議案10件、報告2件、同意案1件、議員発議による意見書等6件を審議し、採決の結果、賛成全員および賛成多数で全件可決しました。

平成21年度9月補正予算

(単位：万円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		3億4,032	68億6,745
特別会計	国民健康保険	268	18億2,354
	老人保健	2,647	2,877
	住宅新築資金等貸付事業	1億254	1億1,677
	介護保険	973	14億7,131
	後期高齢者医療事業	88	1億8,954

報告案件

健全化判断比率等の報告

地方公共団体財政健全化法に基づき報告されたもので、一般会計の実質公債費比率16・7%、将来負担比率17・7%で早期健全化基準を下回っている状況。

また、水道事業・病院事業・農業集落排水事業・特定環境保全公共下水道事業特別会計においても、いずれも該当しないとの報告を受けた。
(承認・全員)

条例改正

出産の一時金
42万円に

出産にかかる経済的負担を軽減し、安心して出産できるよう、出産一時金が本年10月1日～平成23年3月31日までの出産について、4万円引き上げ42万円となる。
(10月1日施行)
(賛成・全員)

小学6年生まで医療費が無料化

就学前までであった、乳幼児の医療費助成が小学校6年生まで拡大された。
(10月1日施行)
(賛成・全員)



地域に子どもの笑顔が広がるように

元気な佐川町を目指し 活性化促進住宅を設置

町民に知識や技術を伝え、協働の活動に意欲があり、その活動を通じて、佐川町を高知県内・外に発信するものを受け入れやすくすることを目的に、民間事業者より住宅を借入れ、入居者に転貸する佐川町地域活性化促進住宅を設置する。
(11月1日施行)
(賛成・全員)

9月 補正予算 ピックアップ



地域活性化の発信地になれるか

東町にある、J.R四
国の社宅を借り上げ、
地域活性化促進住宅
(賃貸住宅)に供するた
め整備するもの。

**地域活性化
促進住宅の管理に
2500万円**

**プレミアム商品券発行事業
1000万円**

地域活性化を図るた
め、商工会が発行する
プレミアム商品券・第
2弾のプレミアム10%
を補助する。

商品券は
11月9日に完売

**尾川・黒岩地区に
ブロードバンドを整備
7829万円**

地域情報通信基盤整
備として、インターネ
ット接続の環境が十分
でなかった尾川・黒岩
地区の条件整備をする
もの。

**工業団地
造成測量設計
2645万円**

サギノス工業団地
を造成するため、測
量設計を行なうもの。



好評のうちに完売した
第2弾

**観光振興事業
1656万円**

観光の進行を目的とし
て、牧野公園合併処理浄
化槽の改修および長谷溪
谷遊歩道の改修を行うも
の。

平成21年度
第2回臨時会
7月14日開会

臨時会
補正予算
ピックアップ

**防災無線戸別受信機
全消防団員に
2097万円**

戸別受信機を未設置の
全消防団員に設置するも
の。そのほか、災害時要
援護世帯へ、住宅火災報
知器の設置を行なう。

**小・中学校の
ICT環境の整備に
1億239万円**

国の進める学校ICT
(情報通信技術)環境整
備事業として、パソコン、地
上デジタル対応テレビ、電
子黒板などを、小・中学校
に設置するもの。

**総合文化センター
改修工事
5795万円**

総合文化センターの外
壁の改修、体育館・グラ
ウンドの照明の修繕、パ
ックネットの改修工事を
行なうもの。

**町道・農道等の
改良工事
4140万円**

農道および用排水路改
良工事は黒原、本郷地区、
町道の改良工事は荷稲、
紫園、下郷、平野、狩場、
中本町等の地区を行なう
もの。



外壁の化粧直しできれいになります

意見書

国にもの申す

総理大臣をはじめ、
関係機関に意見書を提出

臨時教員の処遇改善と 正規教員の採用増を 求める

(提出者 坪屋達雄)

2008年11月現在、高知県の公立学校では、小・中学校519名、高校327名、特別支援学校87名、計933名が臨時教員として勤務しており、教員の高い専門性や教育力の向上が求められている中で、身分の不安定な臨時教員が全教員の1割を超えている。本来、正規教員で充てるべきところを臨時で対応している本県の実態は、早急に改善すべきだ。臨時教員の処遇を改善し正規採用を増加させることは、教育力の継承と発展にとって重要だ。時間講師、長期休業中等の給与保障、臨時教員の処遇改善と正規教員の採用増を強く求める。

(要旨)
(賛成・多数)

非核日本宣言 を求める

(提出者 岩本 正)

昨年5月、国連本部で2010年核不拡散条約再検討会議が開かれる。2000年5月、核保有5カ国政府は「自国の核兵器の完全廃絶」を「明確な約束」として受け入れ、世界は核兵器廃絶の希望を持って新たな世紀を迎えた。しかし、それ以後、「約束」実行の道筋はついていない。いまなお世界には、膨大な核兵器が維持、配備されている。北朝鮮の核実験に見られるように拡散の危険も現実のものになっている。日本政府が「核兵器廃絶の提唱・促進」を、内外で宣言し、非核日本宣言とし各国政府に通知し、核兵器のない世界のための共同の努力を呼びかけるよう求める。

(要旨)
(賛成・多数)

現行保育制度の 堅持・拡充を求める

(提出者 坪屋達雄)

社会保障審議会少子化対策特別部会は2月24日、現行保育制度に代わる「新たな保育の仕組み」を盛り込んだ第一次報告「次世代育成支援のため新たな制度体系の設計に向けて」を決定した。この保育の仕組みは市町村の保育実施義務の規定をなくし、介護保険制度と同じような「認定」

(要旨)
(賛成・全員)

の仕組みを導入、現行の公的保育制度の縮小が懸念される。少子化の進む地方においては、限られた運営費で、職員体制、施設整備の充実を図ることができない。国と地方自治体による保育の拡充は一刻の猶予も許されない。現行制度を生かし保育予算を増額し、保育所を充実させることを求める。

核兵器廃絶の国 際条約締結へ、 政府の具体的な 努力を求める

(提出者 坂本貞雄)

核不拡散条約(NPT)再検討会議の準備委員会は、昨年5月の再検討会議の議題に「核兵器の全面廃絶に対する核兵器の保有国の明確な約束」を謳った2000年の再検討会議の合意文書を踏まえたNPTの運用見直しを含めることを全会一致で合意。オバマ大統領は「米国がNPTの約束を果たす」と表明。日本が被爆した世界でただひとつの国として、来年のNPTの会議で核兵器廃絶の約束が履行されるよう、主導的な役割を果たすとともに、核保有国をはじめ国際社会に対して核兵器廃絶国際条約の締結を目指し、国際交渉を開始するよう働きかけることを強く要請する。



元気で大きく育て

(要旨)
(賛成・全員)

命のカプセル、導入図れ

健康福祉課長 有効活用できる形で導入したい

高齢者、障害者の方の急病時に、迅速で的確な救命措置を施すことを目的とした命のカプセルというものがある。これは、既往症や服用中の薬、緊急連絡先などの緊急医療情報をカプセルに入れて

松浦 隆起 議員



7人が町政を問う

ここが聞きたい



心かよう介護をめざして

冷蔵庫の中に常備しておき、救急隊が駆けつけた時に備えるためのものだ。高齢者の方々の安心安全のために早急に取り組むべきだ。

渡邊健康福祉課長 「命のカプセル」の導入は、一人暮らしの方、高齢者、

障害者の方など、幅広く救急時に必要と思われる。

また、救急隊や家族、近隣の方など支援する人にとっても安心安全を確保できる取り組みと考える。消防署や社会福祉協議会等関係機関とも協議し、導入に向けて検討したい。

榎並谷町長 命を守るということは行政として、大変大事なことだ。関係機関と十分連携をとりながら、有効活用できる形を検討しながら導入したい。

介護サービス

「介護支援ボランティア制度」の導入を

健康福祉課長 検討を重ねる必要がある

65歳以上の元気な高齢者が、介護支援ボランティアをすることでポイントをためて、自らの介護保険料の支払いに充てる介護支援ボランティア制度が、全国に広がりつつある。この制度は、保険料の軽減や高齢者の社会参加、地域貢献につながり、健康増進を図ることができると期待されている。ぜひ、導入すべきだ。

渡邊健康福祉課長 現在、既に多様な面で高齢者の方が、無償のボランティア活動をを行っている。これらとの関係など、関係機関と今後に向けた検討を重ねていく必要がある。

ユネスコ・スクールへ参加を

教育長 全校で参加は難しい

学校現場において、持続発展教育の推進を図るための有効な方法として、ユネスコ・スクールへの参加と活用が挙げられる。本町としても、ユネスコ・スクールへの参加を教育現場に普及促進を図るための取り組みを行うべきだ。

藤田教育長 非常に大事なことだ、との認識はある。ただ、即学校に広げていき、全校で取り上げて参加していくという所まではいきにくい現状がある。



世界に羽ばたけ、子どもたち

2期目の重点施策、示せ

町長 当初掲げた5つの柱を守る



片岡 晶 議員

町長選挙については榎並谷町長以外に立候補の動きがなく、無投票再選ということが濃厚となっている。2期目についての公約、重点施策を示せ。榎並谷町長 4年前、選挙するに当たって、5つの柱を掲げた。1点目は人づくり。2点目は、高齢者が安心して住める町づくり。3点目は産業振興。4点目は町行財政の健全化。5点目は自然と共生するゆとりある町づくり。

次の4年間を託していただけるなら、基本的には当初掲げた5つの柱を今後もきちっと守ってきたい。

模擬議会

研修の場としての取り組みを

町長 ぜひ、実施したい



真剣に臨む若き後継者

柳瀬川改修問題

町長の更なる働きかけを

町長 粘り強く取り組む

模擬議会の開催について、中学生等の模擬議会の開催が実現していない。新たな方向性として職員研修、あるいは議員研修の場として取り組んではどうか。味元総務課長 中学生の模擬議会については、学校現場からの回答待ちというのが現状である。榎並谷町長 模擬議会というのは、いろんな形で研修になると考えている。議員の方々とも相談しながら、ぜひ、実施したい。



早急な対応が求められる柳瀬川改修問題

長年、黒岩地区の柳瀬川の改修問題については、地元住民をはじめ、関係機関等も努力をしながら取り組んできた。現在は、水害対策についての組織を作り、町長を先頭に県の土木部、国交省四国整備局に陳情をしている。更なる町長のリーダーシップでの働きかけが大事だ。渡辺産業建設課長 黒岩地区の柳瀬川改修問題は本町の大きな課題であると認識している。行政と住民が一体となって地域の調整と国、県への要望

地域農業の振興というものに取り組んでいく時と考えている。

榎並谷町長 越知町との連携も含め地域が一体となることが第一だ。今後行政として粘り強く取り組んでいきたい。

- その他の質問
- 土地開発公社の解散について
- 町広報のあり方について

本町の総括は

教育長

9月末にまとめる

全国学力テストの結果が公表されたが、教育委員会、学校へはどういったルートで届くのか。テスト経費58億円をかけたの実施だが、卒業までに6カ月しかなく、分析結果に見合う十分な指導は無理ではないか。実施学年をずらしてはどうか。本町の結果の傾向と、今後の児童生徒への対応をどう進めるのか。

藤田教育長 教委へは学校単位で、学校へは個人の結果が直送される。

岩本 正 議員



成績の開示は、県までは文科省が公表するが、市町村名や学校が分かる公表はしないと定められている。学校・教委としてまだきちんとした総括ができていないが、前回までの総括から見ても、家庭環境や生活と成績の因果関係

で、例えば読書好き、テレビを見る時間の少ない子、食事をきちんと食べる子は成績がよいといえる。各校では、当然、個々の成績を分析し、指導にあたることになる。9月末を目途に学校・教委が各々総括をしてつき合わせ、本町のまとめをする予定だ。まったくの私見だが、今の形では効果的な運用はなされにくいと思う。



新しい学び舎で、真剣なまなざし

町政運営

住民の声どう捉える

町長 いろんな声吸い上げ、生かす



移築完成間近の旧青山文庫

町民の方から、この4年間、町長は何を残すことができたかとの声を受けた。自負できる4年間の成果は何か。また、今後も引き続き取り組んでいくべき課題は何か。

町政への住民の希望を町長はどう捉えているか。そして、どんな声が届いているのか。

榎並谷町長 成果というより一歩前進できたと思うのは古い町なみを生かした地域活性化だ。今後、歴史的風致維持向上計画

に基づき、さらに進めていき、今後には生かすチャンスとしたい。

一方、地場産品のブランド化、少子化対策、「水の科学と技術に関する研究所」・「大阪大学大学院工学研究科との連携」における研究と協力態勢のあり方などについても更なる取り組みを行って

いく。住民の声は本当に大事にしていかねばならない。ただ、直接上がってくるのは個人の利害に

関することが非常に多く、その措置に苦慮しているのが実態だ。

町民の皆さんの理解と協力こそが基本であり、これからいろいろな人たちの声を吸い上げ、行政に生かし、進める姿勢はもっていききたい。

町行政の展望

次期町政の目標・課題は

町長 交流人口を増やす



今橋 寿子 議員

榎並谷町長は、歴史的にも素晴らしい人材が育まれた佐川町の再生に取り組んできた。4年間の総括と次期町政での目標・課題は。

榎並谷町長 自己評価としては60点。これからは国の施策を活用して、地域の活性化、特に観光振興については歴史的な文化遺産等を活用して交流人口を増やしていく。

防災対策

弱者使用のトイレの完備を

総務課長 携帯用トイレを備蓄する

住民の方より防災対策のひとつとして、非難時に弱者が使用できるトイレの完備を、この声がある。現状はどうか。
味元総務課長 弱者使用のトイレは、当面携帯用トイレを備蓄し、いざというときに活用できる体制を整えたい。



様々な問題が提起された避難所のトイレ

水に困っている住民の方から、悲鳴の声が届いている。公平性の面からも、できるだけ対策をとるべきだ。水道の未整備地区への対応は。
渡辺産業建設課長 飲料水供給施設などが、できるかどうかといった色々な方策を検討し、要望のあった地域の方々と一緒に協議した上で取り組んでいくことが、大事なことだと感じている。

水道事業

未整備地区への対応を

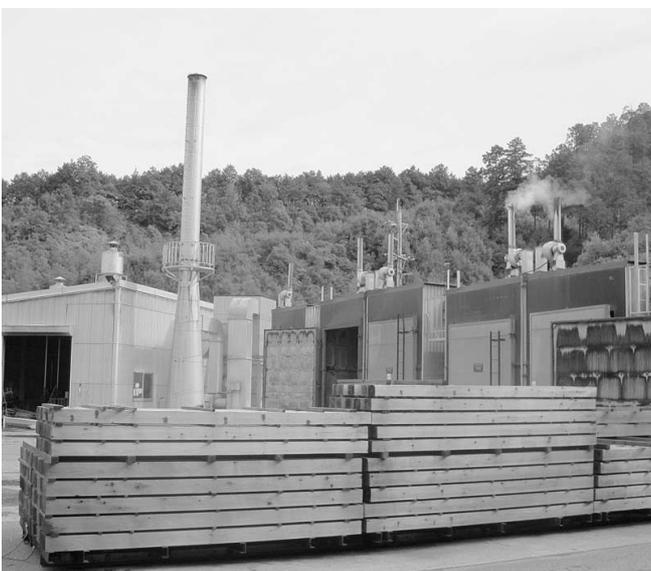
産業建設課長 色々な方策を検討

ソニア存続問題

見込みはどうか

町長 地域で守って行きたい

ソニアの事業について、現実には破産状態にあるのではないかと支援が必要か。見込みはどうか。
渡辺産業建設課長 決算書と21年、22年度の計画書を見るかぎり、資金不足が発生するようなものではなく、経営も安定的にいくはずである。
榎並谷町長 佐川町だけで運営できるものではなく、仁淀川町、越知町との関連があるので、地域全体で守っていききたい。



稼働はしているが…



坂本 貞雄 議員

佐川のお茶は今春の価格暴落で危機的状况にある。土佐茶、仁淀川流域茶は高品質で知られ、特に佐川茶は品評会で最優秀に入るほどの高品質だ。この佐川茶を守るための取り組みと将来展望を示せ。



売り出せ 佐川茶

農業振興

佐川茶の将来展望示せ

産業建設課長 緑茶として消費拡大に努める

渡辺産業建設課長 佐川町のお茶の多くは、静岡茶などのブレンド用として出荷されていたが、平成18年に産地表示が法制化され、粗茶での静岡茶等への販売値がかなり暴落した。今後は、粗茶から仕上げ茶、緑茶へ移行し仁淀川流域茶のブランド化を主体とした茶の振興を考えている。また、佐川町産のお茶を飲み、買える場所の検討、ティールームにしてホテル等への売込みなど消費拡大に努める。

介護保険

新認定規準の取り組みは

健康福祉課長 調査方法変わらない

要介護認定の新基準により、全国的に介護認定されない非該当者が多く出たため、10月1日より新基準が大幅に見直されることになった。本町の取り組みと現状はどうか。

渡辺健康福祉課長 新認定基準により判定基準は変わるが調査方法は変わらない。認定調査員の詳細な調査と認定担当者による調査票の作成の方法は変わらず、前年と大きい差はでない。非該当者は20年度は1.40%、21年度は1.47%である。

医療制度

無料・定額診療の導入図れ

町長 導入は難しい

榎並谷町長 本町への導入については、仕組み等非常に難があると判断している。高北病院への導入は医師不足や経営の厳しい状況から直ちに導入ということにはならない。

社会福祉法では、生計困難者が経済的な理由で必要な医療を受ける機会が制限されることのないようとの観点から、無料・定額診療ができることされている。高北病院への導入を図るべきだ。

- その他の質問
- 非課税世帯・75歳以上の高齢者の医療費を無料化にできないか
- 肺炎球菌ワクチンの予防接種の一部助成をできないか
- 新型コロナウイルスへの対応は



地域医療へ努力を続ける高北病院



松本 正人 議員

ソニア存続問題

6000万円、借入れの目的は

町長 運転資金

始まった平成16年度が約5千万円、その翌年度が約1億円と急速に損失額が大きくなっている。

そついった経緯のなか、平成20年4月17日の取締役会でJACOSモスからの6千万円の借入れを決めている。担保は仁淀川森林組合への貸付金としているが、いくら貸し付けているか。また借入れの目的はなにか。借入れの連帯保証人に3首長と誰がなっているか。

榎並谷町長 ソニアから仁淀川森林組合への貸し付けは全部で1億円程だ。内6千万円を借り入れの担保としている。目的は運転資金。連帯保証人は3首長と専務取締役（当時）の4人。

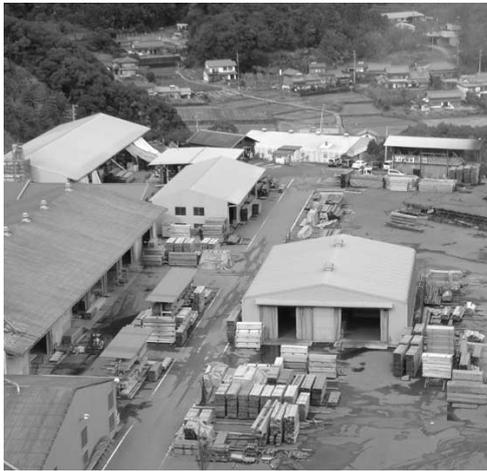
ソニアは平成5年12月に設立され、果実（梨）の運営を運営の基礎としていた。当初、間伐等の林産部門のみを営んでおり、年間損益はほしい2千万円の赤字であったが、製材業が本格的に

ソニア存続問題

滞納への対応に大きな差

町長 批判の声、当然

ソニアが本町に対して支払うべき固定資産税が3年分で約1800万円滞納しているが、8月の3町合同議員協議会で広域の税金（高吾北広域ふるさと市町村圏基金）でこの固定資産税を補填したいと説明した。本町では給食費等の滞納に対して厳しく取り立てているが対応に大きな差があると思わないか。



ソニア、今後の行方は

ソニア存続問題

民主的運営体制整わぬ限り 公金投入すべきでない

町長 存続に努力したい



ソニアには34人の職員がいる。この雇用を守るという点でも基本的には存続すべきと思うが、総務省の「指針」にあるように民主的な運営体制、情報開示、議会でのチェック体制が整わない限り、公金投入を認めるべきではない。

榎並谷町長 今後は地域の森林を守り、製材を守る点で町民に理解を得ながらなんとか再生して存続に努力したい。我々取締役にも経営の責任はま

製材部門切り離し、再起図れ

町長 現段階では検討しにくい

ソニアは山を守り、若者定住の就労の場を、との美名のもとに始まったと思っっている。平成15年までは、山の仕事、いわゆる間伐だけを行い、赤字も2000万円から3000万円で抑えられていた、と認識している。しかし、その後、製材業も始め、それを機にこの部門で大きな赤字が出始めたものと考ええる。この際、山を守る作業と赤字の多い製材部門を切り離して、再起を図るべきだ。

嶋崎 正彦 議員



榎並谷町長 当初は山の仕事を守るために、製材業を始めたと認識している。

このソニアそのものは、赤字部門、黒字部門を切り離しての経営ということにはならない。林産部からの供給と一体となった取り組みが今のソニアの、運営の基礎だと考えている。
別の会社に仕立てることは、現段階では検討しにくい。

鷹ノ巣養豚団地

農地利用できないか

町長 有効に使える道、検討



いまだ、利用の道、決まっていない

養豚団地跡地利用には二通りの意見が地元にはある。そのひとつは、公的資金を入れず、自然の山へ帰す。もう一方は、農地で利用すれば、公害の起きる心配もないとの意見だ。漢方薬の材料となる作目の栽培に利用できないか。
榎並谷町長 跡地利用には頭を痛めている。多額の資金を投入しているので、地元と協議し有効に使える道があれば、十分検討し前向きに考えたい。

斗賀野ハートフルショップ

高齢者、交流の場に

健康福祉課長 利活用に向け、十分検討する

斗賀野ハートフルショップ・たこの店は、10数年前、高齢者が農作物の販売とふれあいの場として建設された。現在、閉店し6〜7年経過している。地元住民より、非常にもったいないので、色々の物を販売し、高齢者の交流の場に、との要望がある。町としての考えは。

渡邊健康福祉課長 平成5年度に高齢者の生きがいと健康づくり事業で建てられたもので、施設の老朽化も進んでおり、今後の利活用に向け、十分検討する。



新たな活用が求められる

教育厚生常任委員会

保育の運営と中学校の部活動状況

黒岩・永野保育所・佐川中学校

委員長 坪屋 達雄

少子化顕著

町内には、公立2、私立5、合計7カ所の保育所があり、その定員の合計は440人である。入所人数は401人、広域入所13人を合わせ414人が入所。10年前の定員を見てみると640人である。少子化が一段と進んでいる。

この現象が続くと、保育所の統廃合なども将来的には検討が必要になると考えられ、そういったことを踏まえ午前中に黒岩保育所、永野保育所において、両所長と保育所の取り組み、保育参観、意見交換等を実施した。

地域との交流

活発に

黒岩では地域との交流がよくできていることと、地域でのイベントな

どへも積極的に参加し、また、園庭などを活用しての野菜づくりが盛んで、園児が作った野菜を調理し食べることにより子供たちの好き嫌いの解消につなげ、食に対する関心をもたしている。

保育活動でやる気を

永野保育所は、和太鼓の演奏を保育に取り入れ、元気で挨拶のできる子供達をそだてる取り組みがなされている。また、敬老参観などを実施することにより地域との連携もはかっている。

今後の環境

両保育所とも、子供の数の確保が今後の課題となっている。町内全保育所の総意で多子世帯の保育料の軽減措置と、黒岩では、建物の耐震診断補強工事の要望をうけた。

健全運営に

滞納整理

午後、担当課長と、意見交換し保育料の滞納整理について説明を受けた。19年度以前の滞納者への督促状を送付、納付相談や納付に応じない場合の財産調査、差押えを実施、繰越滞納額821万円、20年度収納済額419万円不納欠損額124万円、収入未済額278万円になっている。前年度より2倍強の収納額になっており、努力のあとがうかがえる。

部活動は

生涯学習につながる

佐川中学校の部活動の現状について学校長より説明を受けた。

現在、部活数11、入部者数237名で84部の生徒が活動。部費は、部活によって差異はあるが月1000〜2000円とのこと。各部の練習を見てまわったが、練習機材

の備品の要望をうけた。野球部はピッチングマシン、吹奏楽部は楽器の買い替え修理など高額の費用が必要となっている。執行機関においては検討するように要望する。

指導者の

確保の課題

部活動は、生徒の個性を伸ばし自主性を育成する上で欠かすことのできない活動であり生涯学習の視点からも重要な。近年、生徒数の減少により部数の整理を要するものや、指導者の確保も課題となっている。



エコ対策で森林

資源の活用

この、事業は、仁淀川流域（土佐市、いの町、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町）を包括し、仁淀川町が事業主体となり平成17年度NEDO事業採択を受け、事業実施5年目となっている。

原料を粉砕、チップ化しガス化発電とペレット製造燃焼システムにより、バイオマスエネルギーの地産地消をめざしている。

原料は、買取価格は1ト3000円で買い取り、仁淀川町内は地域通貨券を上乗せし、それ以外は1000円を上乗せして購入。ペレット関係は安定しており、年間526トの燃焼実験を行い重油262klの削減効果があがっている。

産業建設常任委員会

バイオマスエネルギー地域システム化実験事業

【仁淀川町】佐川町川内ヶ谷

委員長 氏原 義幸



環境対策に一役

今後の運営管理が

課題

発電施設は、製材工場や、乾燥機等で消費しているが余剰電力は売電できないとのことだ。この事業は22年3月末で終了する。それ以後の運営をどうするか結論を出す必要がある。川崎重工と行政の関与無しでは継続は難しいだろう。



水農会

水と農業を守るために

— 水農会と言う名前の意味はどういったところでしたか。

— どういった構成のグループですか。また会員さんの人数は。

— 広がりを見せており、現在は23名になってい

ます。土づくり、また、こういった作物が良いかなど多岐にわたっての勉強会を1カ月に1度の割合で会合をもっています。

わがまち「人」では、この佐川のまちで元気に活躍されている方にスポットをあて紹介します。

今回は、黒岩地区平野、水農会会長の織田和主さんにお話を伺いました。



織田 和主 さん

— ここ平野から山本までの農地、水害水没地区を考える人たちの集まりが母体ですが、そこに農業の将来を考える人が集まりまして、何もしないではなんの変化も起きないということから会を立ち上げて活動していこうというところでこの名前をつけました。

— 当初は、水害対策を考える会の水害地区の各集落で、20代から30代の若い者たちの集まりでしたが、今では、庄田、二ツ野地区の若い方も入ってきてくれて、黒岩全体に

— 協、改良普及所、役場、農協、各関係機関に協力していただいて農薬、肥料、

今年初物、上々の出来です



葉にんにく使ってね

— 年間の活動はどういったことをしていますか。

— 協、改良普及所、役場、農協、各関係機関に協力していただいて農薬、肥料、

— 最後に今後に向けて一言お聞かせください。

— やはり、この黒岩地区の茶園の荒廃を放置しておくことはできないと思っています。

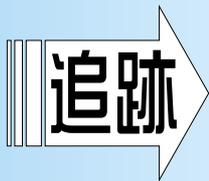
— また、農家の収入の安定化といった面でも販売ルートの確立、現金収入につながる特産品の選定など、今、8品目ほど選考していますが、今後絞り込んで取り組んでいきたいと考えています。



水農会も協力して行われた平野がんばる祭り

— ありがとうございます。黒岩地区の活性化と若い農業後継者のリーダーとして、寒さにも負けずに頑張ってください。

— あなたの周りに、人知れず「佐川のまち」の元氣のために活躍されている「人」をぜひ、ご紹介下さい。
— ご連絡は議会事務局まで。



あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ

No.11



消防団員に設置される受信機

消防団員全員に受信機の設置を

(平成21年6月定例会)

斗賀野消防分団員の中に、防災無線が聞こえない者がいる。他の分団にもいると思われるが、非常時の出動に支障を来たすと思われる。3月には家火事の折、防災無線のサイレンが鳴らないトラブルが発生している。団員全員に設置できないか。

(氏原義幸 議員)

総務課長 答

設置の方向で予算要求

国の補正と県の単独事業で設置する方向で、125基分の予算要求をしている。

3月末までに設置完了

現在、発注をかけているので、3月末までには設置完了し、全団員への連絡が可能となる。

どう
なった

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月8日午前9時開会
予定です。傍聴においでください。

議会広報編集委員会

委員長	岡村 統正
副委員長	坂本 貞雄
委員	松浦 隆起
委員	片岡 勝一
委員	森 正彦

※わかりやすい紙面に心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

編集後記

議会だよりの編集委員も今回の改選で新しく2名の議員も加わり新体制で取り組んでいくことになりました。

これまでは定例会の後、約3ヵ月遅れでの発行でしたが町民の方でできるだけ早く議会だよりをお届けできるように2ヵ月で発行することにしましたが、今回は、議員選挙を挟みましたので編集ができずお届けすることができませんでした。

紙面づくりには、編集委員が、すべてパソコンでレイアウト、色の使いかた、キャプションの挿入、それぞれの貼り付け写真、人コーナーでのインタビュー、一般質問の編集など大変な労力と苦勞の連続ですが、今後も読者の皆さんに簡潔でわかりやすい紙面をお届けできるように、編集委員全員で取り組んでいきますので、これからも、よろしくお願いたします。

岡村